



創立60周年を祝して

滝川市議会議長

水口 典一

社会福祉法人滝川市社会福祉協議会が、ここに創立60周年の記念すべき年を迎えられるにあたり、市議会を代表して心からお祝いを申し上げます。

顧みますと、貴協議会は、社会福祉事業法の制定に伴い、昭和26年7月に民生委員や保護司の皆様を中心に、社会福祉事業を推進する中核団体として創立されたと伺っております。

終戦当時の極度な窮乏と混乱からようやく抜け出し、経済力も徐々に回復成長の過程に入ったこの時期、地域住民が健康で文化的な生活を営むことができるように、地域全体の社会福祉を増進し、明るく豊かなまちを建設する目的で設立されたところですが、この60年の道のりは決して平坦なものではなく、この間、会の運営にご尽力された歴代の役職員の皆様をはじめ、関係各位に深く敬意と感謝を申し上げる次第であります。

時に、3月11日、東日本を突然襲った地震と津波、死者、行方不明者合わせて2万人を超える未曾有の国難とも言える大災害、被災地に対する支援にあたっては、いち早く「市民の会」を立ち上げ、日赤、共同募金会とともに義援金の集約に奔走されたことについても、深く敬意を表する次第です。

現在、貴協議会におかれては、地域の福祉向上を目指した独自事業、受託事業などの法人運営事業やボランティア登録事業、さらには居宅介護支援、訪問介護事業など、住民福祉のパイオニアとして果たす役割は大きく、今後におけるさらなる発展と活躍が期待されるところであります。

近年、少子高齢化が顕著に進む中、こうした社会構造の変化に伴う社会福祉の需要も多様化し、貴協議会が展開する事業の重要性はますます高まっていると云えます。これまで培われた経験と実績を基に、社会福祉事業の充実向上のため、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協議会のますますのご発展と関係の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。お祝いのことばいたします。



祝 辞

滝川市共同募金委員会

会長 藤本 清 正

滝川市社会福祉協議会が創立60周年の記念すべき年を迎られますこと心からお慶び申し上げます。歴代会長をはじめ役員職員の皆様方におかれましては永年にわたり地域の福祉活動の先覚者として福祉の向上に大きな役割を果たしてこられましたことに深甚なる敬意を表する次第であります。

戦後の混乱の続くなか昭和22年に国民たすけあい共同募金運動が全国的規模で展開され、全国で5億9200万円の募金が集まりました。当時の労働者の平均賃金が1950円、郵便はがきが50銭、豆腐が一丁一円の時代で一人平均の募金額が8円となり、まさに助け合う支えあう日本人の絆の深さがうかがえます。第一回の配分は、戦災孤児・外地からの引上者の援助や戦いで家を失った人々の福祉施設を重点的に支援されました。

昭和26年には地域福祉の推進を目的に、社会福祉協議会と共同募金が社会福祉事業法により法制化され、民生委員や保護司の方々を中心に滝川町社会福祉協議会が設立されました。爾来、滝川市社会福祉協議会は社会の多様な福祉ニーズに応えるため福祉事業・訪問介護事業・在宅福祉サービス事業等多くの事業を展開され、市民の誰もが安心して暮らせる地域づくり、福祉向上に大きな貢献を果たされておられますことに深く感謝申し上げます。滝川市においても近い将来3人に1人が高齢化を迎えることは確実であり、市民みなで支えあい、たすけあう福祉活動は地域コミュニティが薄れゆく昨今最も必要とされているところであります。

滝川市社会福祉協議会が益々ご発展され、地域の福祉活動の拠点となりますことをご祈念申し上げます。